

かえる便り 27年度24号

平成27年11月17日

向寒の候、皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

ラグビー日本代表がW杯で大活躍したことは、日本人として大変嬉しいことです。

また、彼等のインタビューを聞いていると、誠実さがひしひしと伝わってきます。ス

ポーツを指導する者として、彼等のような“強く・明るく・好感を持てる人間”を育成しなければならぬと痛感しています。

私達の身体は外部の様々な変化（気温・湿度等）や身体動作による刺激等に対応して、生体を一定範囲内で安定した状態に維持する働きがあります。その中枢を担うのは神経系（脳・脊髄）と内分泌系です。ラグビー日本代表のトレーニングは、“もの凄くハード”なものだったと聞いています。そのような状況におかれても、少しずつ順応する力が我々の身体には備わっているのです。しかし、内部環境は意識しなくても安定した状態に保たれますが、与えられた事や自らの課題克服をするには、自分自身の“実行する”という気持が必要です。“心”（心構え・意志）が全てなのです。大輪の花を咲かせる努力をした結果なのです！見習いたいね！



人の脳重量は約 1.3~1.4 kg。成人の体重を 65 kg とすると約 2%。出生直後の赤ん坊は体重約 3 kg、脳は 400 g です。体重の 13% あります。この大きい脳の特徴は、いろいろなことを学習ができることです。学習が行われるときに、脳の中に変化が起きます。学習というのは、何かを経験したあと、行動が変化することを言うのですよ！授業・本・人の話・人のプレーから学び、変化をしましょう！人は生涯変わるのですよ！今直ぐ 感・即・動！

会社や学校の組織も各部署が別々に働いていたのでは、効果的な仕事をする事は不可能です。組織を部署単位で見ると全く違った働きをしているように見えますが、実は大きな目的を達成するために有機的に結びついているのです。サッカーも同じです。“点を取る・ボールを奪う”という目的のために、それぞれの持場で責任ある仕事をする事が求められるのです。つまり、戦っている場所や状況により最善のプレーを瞬時に考え実行するのです。最善の選択をしてもミスすることはあります。その時、人の真価が分かるのです。『責任を果たす努力をしない人』がいれば組織はどうなるでしょうか？ 人の価値は、どれだけ責任ある仕事をするか！